

# 東日本大震災被災県中学校の取組

福島県富岡町立富岡第一中学校

## 1. 本校の概況（震災時および現在の様子）

### <震災時の様子>

平成22年度の卒業式を終え、平成23年3月11日午後2時46分の時点では、卒業生、在校生とも帰宅した後で、校舎内には教職員のみという状況であった。本校は震度6強の地震により、体育館ギャラリーの南窓の一部が崩落、各室の物品が散乱していた。午後3時30分頃には、海岸付近の家屋や JR 富岡駅等をのみ込んだ大津波が、テニスコートの脇まで達したものの、校地や校舎への影響はなかった。午後4時頃から、避難者が学校に集まり始め、避難所として3階の LL 教室を一時開放したが、町が避難所として富岡町文化センターを指定したため、職員が避難者をピストン輸送し、午後6時頃には移送を完了している。翌日の12日には、原子力緊急事態宣言の発令にともなう、東京電力福島第一原子力発電所の半径10km(5:44)、20km(18:25)への避難指示、東京電力福島第二原子力発電所の半径3km(7:45)、10km(17:39)への避難指示により、学区内生徒・保護者および教職員が避難を余儀なくされた。3月14日から8月31日まで、学校は東日本大震災・原子力災害による避難のため「臨時休校」となった。

### <現在の様子>

平成23年9月1日に、田村郡三春町大字熊耳字南原94の曙ブレーキ工場旧管理棟を改修して、富岡町立・幼稚園・第一小学校・第二小学校・第一中学校・第二中学校を開設し、学校の教育活動を再開した。

平成27年6月1日には、仮設体育館が完成し竣工式を挙行了。教育課程は、平成26年度より第二中学校と合わせて編成し実施している。平成28年1月現在の在籍生徒数は、1学年4名、2学年5名、3学年5名の合計14名である。

## 2. 学校の写真



テニスコートの脇に  
達した大津波



再開した三春校の校舎 富岡第一中学校の校舎（富岡町）

### 3. 特色ある取組

#### ＜幼稚園・小学校・中学校の合同での取組＞

平成26年度より、第二中学校と合同で教育課程を編成し、教育活動を実施している他に、幼稚園と小学校と、運動会や学習発表会を合同で実施している。本校や二中の中学生が、幼稚園生や小学生のお世話をするなどしながらの活動は、単に幼稚園生や小学生に発表することとは違って、良き見本となろうとする精神的な成長に、プラスに影響していると思われる。

#### ＜2つの富岡第一中学校バドミントン部＞

仮設の体育館の完成により、三春校でも卓球部とバドミントン部、そして総合文化部の3つの部活動が平成27年6月より活動を始めている。本校には、震災以前から全国大会でも活躍しているバドミントン部があるが、避難により猪苗代中学校にお世話になり活動を継続している。(生徒は、富岡町からの区域外就学で猪苗代中学校に在籍しているが、部活動は、富岡第一中学校バドミントン部として、猪苗代中学校のバドミントン部とは別に活動をしている。)平成27年6月より、三春町と猪苗代町にそれぞれ富岡第一中学校バドミントン部が存在することになった。猪苗代のバドミントンの生徒と、三春校の生徒の交流会を10月に三春で実施して、互いに交流する機会を持つことができた。

#### ＜ふるさと創造学(総合的な学習の時間)への取組＞

双葉郡内の小学校、中学校、高等学校では、「ふるさと創造学」という、ふるさとを知り、将来のふるさとを創造しようとする学習を、総合的な学習の時間を中心に展開している。ふるさと富岡町での生活が、避難指示により小学校の低学年までであった生徒たちにとって、富岡町を理解する貴重な学習となっている。双葉郡内の合同発表会でもある「ふるさと創造学サミット」が、平成27年12月に実施された。

### 4. 取組の写真など



左上：学習発表会（平成27年10月31日）



右上：交流会（平成27年10月2日）



右下：ふるさと創造学サミット[郡山市中央公民館]  
(平成27年12月12日)